

第4学年 学級活動指導案

指導者 藤原 萌々香

児童 男12名 女9名 計21名

場所 4年教室

1 議題名 「～めざせ！にじいろ4年生～」

学級活動（3）ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成

2 活動を意図した背景

(1)子どもの実態

本学級の児童は、素直で明るく、何事にも前向きに取り組める児童が多い。学級の係活動や当番活動にも意欲的で、自分たちで話し合っで係（会社）を決め、一人一人が選んだに係に所属し、好きなことや得意なことを生かした係活動に進んで取り組んでいる。また、困ったことや分からないことがあると問題を解決しようと教え合う姿や話し合う姿がよく見られる。

5月には、学級目標を考えるきっかけとして、「5年生までになりたい自分」について考え、話し合った。自分達が決めた目標の姿に近づくよう現在も取り組みを続けている。また、来年度からは、委員会等で全校に発信していく機会が増えることを見据え、堂々と自分の考えを相手に伝えることの大切さを日頃から指導してきた。

4年生を対象に実施したアンケートの「5年生のイメージは？」という質問では、自然教室や陸上記録会などの行事に関する回答が多く挙がった。また、5年生から本格的な高学年としての生活が始まる意識があり、「しっかりしている」「学校の副リーダー」「立派」など憧れの存在であるイメージが強いことが明らかになった。しかし、「勉強が難しそう」「まだ切り替えができてない」という理由から、「大変そう」「うまくできるかな」という不安を感じさせる回答も多くあった。

以上の結果から、全体的に5年生に進級することを楽しみにしている児童が多いのではないかと考えられる。また、5年生への進級を楽しみにすると同時に、不安を抱えている様子も見られる。半年後に迫った5年生について「がんばる」「大変そう」という思いをもっているにもかかわらず具体的などんなことをすれば良いか、自分にはどんな努力が必要なのかという考えには至っていない。また、高学年での生活について家族や5・6年生の様子を聞いていても、部分的な情報になり、どのように生活が変わるか捉えていない。

(2)教師の思い・願い

自己実現を図っていくために児童が5年生の楽しみと大変さを知り、一人一人が自分のよさを生かしながら、5年生に向けて今できることを考えて行動する態度や、学級の一員として意欲的に活動に取り組もうとする態度が育成されようと考え、本題材を設定した。

発達段階を考え、まず様々な活動についての関心を広げ、その後高学年でどんな自分になりたいかについてイメージを持てるようにする。そのためにまず5年生に進級してどのように生活が

変わり、どんなことに気をつけて頑張っているかについて話を聞き、高学年になったときによりよい生活を送るために必要なことは何かを知る時間をもちたい。

また、それを踏まえて自分の現状の課題を見つけ、高学年になるまでの生活をよりよいものにするために具体的な目標を設定し、努力するきっかけにして欲しい。

そして、5年生になることへの関心や5年生になるために自分の行動を見直していく意欲を高めたい。

(3) 研究主題に関わって

視点1 かかわる について

- ・アンケート結果と今の自分の生活を比べる場面を設定することにより、自己の課題に気付くことができるようにする。
- ・5年児童のインタビューを視聴することで、より具体的に自分たちの行動を振り返り、5年生の普段の働きの工夫や責任感などの心情面に目を向けることができるようにする。

視点2 つながる について

- ・学級目標「にじいろ4年生」の達成に向けて取り組んできたこれまでの自分を振り返り、よりよい自分を目指す意欲を高めることができるようにする。
- ・キャリアパスポートやがんばりカードを使うことで、子供たちの意欲を高めることができるようにする。

3 活動のねらいと評価規準

【活動のねらい】

5年生になることへの関心を高め、めあてや希望をもって生活しようとする態度を育て、なりたい5年生に向けて今できることについて考え、意思決定することができる。

【評価規準】

よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	希望や目標をもつことの意義を理解し、自己のよさを生かしながら将来への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。
集団の一員としての話し合い活動や実践活動を通じた思考・判断・表現	希望や目標をもつことについて、よりよく生きるための課題を認識し、解決方法などについて話し合い、自分に合った解決方法を意思決定して実践している。
主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度	現在及び将来にわたってよりよく生きるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己のよさを生かし、他者と協働して、自己実現に向けて主体的に行動しようとしている。

4 活動の流れ

月 日	○活動の内容 ・児童の思いや願い	☆指導上の留意点と 研究に関わる視点	◎目指す児童の姿 〔観点〕〈評価方法〉
9月1日(金)	○5年生のイメージについてのアンケートを実施する。 ・自然教室に行っていた。 ・委員会でいつも助けてくれる。 ・家庭科の授業をがんばっている。	☆4年生を対象にアンケートを取り、題材への関心を高める。 →視点1	
9月29日 (金) 本時	○なりたい自分を見つけ、目標を立てる。 ・5年生のように、みんなのためになるにはどうすればいいのだろう。 ・5年生は、みんなのお手本になるように知らないところで頑張っていたんだ。	☆めあてがスムーズに立てられるように、5年生の話のキーワードを抜き出し掲示する。 ☆「高学年」になることを自覚させ、「高学年としてなりたい自分」になるためにはどうすればいいか考えられるようにする。 →視点1・2	◎自己の課題に気づき、5年生の気持ちなどについて考え、自己目標を決定している。 【思考・判断・表現】 〈発言・ワークシート〉
10月2日 (月)～ 10月6日 (金)	○「がんばりカード」に取り組む。 ・前より、みんなのことを考えて行動できている。 ・成長している。 ・もっと頑張りたい。 ・来年は今の5年生のようになりたい。	☆定期的に振り返りさせ、なりたい自分により近づけるための具体的なめあてと手立てになるように修正していく。 →視点2	◎自分の決めた目標に向けて、意欲的に行動している。 【主体的態度】 〈観察〉

5 本時のねらい

よりよい学校生活を送るための見通しを持ち、そのために必要なことを話し合い、自分に合っためあてを立てて実践できるようにする。

6 本時の展開

	児童の活動	・教師の支援 ◎評価基準
つ か む 10 分	<p>1 4年生にとってアンケート結果を知る。</p> <p>2 現時点で自分たちが5年生になるのにふさわしいとどれだけの人が思っているのか知る。 ・「このままではだめ」と思っている人が多いな。 ・かっこいい5年生になりたいな。 ・どうすればいいのだろう。</p> <p>3 5年生にとってアンケートの結果を見る。</p> <p>4 アンケートの結果について考える。 ・大変だった分、成功すると嬉しいから。 ・苦労した分、やりがいを感じるから。</p> <p>5 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> になりたい自分になるために、今、自分に取り組むことを決めよう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果をもとに、高学年への期待感に気付くようにする。 ・アンケートの結果をあらかじめ教室の壁に隠して掲示することで、ワクワク感を味合わせる。 ・5年生になって大変だったと感じていることと楽しかったと感じていることのランキング順位が同じであることに気付かせる。 ・アンケート結果の項目の中に「楽しい」と「大変」という言葉があるが、言葉の意味が全く違うのに、なぜ順位が同じなのか考える。
さ ぐ る 15 分	<p>6 学級目標と2学期の目標達成を目指した取り組みをもとに今までの自分たちを振り返る。</p> <p>7 5年生へのインタビュー動画を見て高学年の姿について全体で確かめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアパスポートから、自分の成長や自分のよさを見つめ、めざす5年生の姿をさぐる。 ・高学年として責任や自覚のある行動が求められることを引き出す。 ・5年生のインタビュー動画で、5年生になってから学んだことや、大変だったことについて話してもらうことで、自分たちが5年生になるにあたって、必要なことに気付くことができるようにする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>視点1 インタビューから、高学年の大変さややりがいについて目を向けることができるようにする。</p> </div>

みつける 10分	<p>8 グループでなりたい5年生に向けて、大事なことや必要なことは何か話し合う。</p> <p>9 グループで話し合ったことを発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 大事なこと、必要だと思うことをクラス全体で共有できるように、グループごとに発表する時間を設ける。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>視点1 自己の課題に気付くとともに、友達と交流することにより多様な考えに触れることができるようにする。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> • 児童の発表をキーワードでまとめ、実践の目標を立てやすいように整理する。
決める 10分	<p>10 これから5年生になるために自分が実践することを決めて、伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 次の授業の準備をする。 • 時間を意識して行動する。 • 気持ちの良いあいさつをする。 	<ul style="list-style-type: none"> • グループで話し合ったことをもとに自分が頑張りたいこと、意識したいことを具体的に決められるよう支援する。 • 自分が立てた目標を実践することで学級目標「にじいろ4年生」に近づけることを意識付ける。 <p>◎今の自分に大事なこと、必要なこととして、自分に合っためあてを考えている。</p> <p>[思考・判断・表現]〈発言・ワークシート〉</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>視点2 なりたい姿をイメージさせ、今の自分にできることを考え、学級目標の取り組みとつなげる。</p> </div>